平成23年度　活動報告

佐渡市小学校教育研究会　道徳部

１　活動方針

佐渡市小学校教育研究会道徳部は，これまで授業研究を中心に道徳の時間の指導法について研究を深めてきた。平成23年度は，この授業研究に加えて，各学校の道徳教育の全体計画を持ち寄り，全面実施された新学習指導要領の考え方を，教育課程にどう反映させていけばよいのかを検討する研修会を設けた。また，あわせて新教育課程研究集会に参加した先生の伝達講習も行うこととした。

２　活動の実際と成果

(1) 授業研究会（10月26日実施，13名参加）

平成22年度に引き続き，佐渡市立小木小学校山田潤教諭より，以下の通り授業を公開していただいた。

① 実施学年　小木小学校２年生
② 主 題 名　「ともだちって」
　　＜低学年２−(3)友情・信頼＞
③ 資 料 名　「いつもいっしょに」（絵本）
　（こんのひとみ作，いもとようこ絵，金の星社）
④ ね ら い
　友達に何かをしてほしいと求めるのではなく，友達がいてくれることのよさに気付き大切にしようとする心情を育てる。

授業では，絵本を効果的に提示することで，子どもの興味を引きつけ，集中した学習が展開された。よく資料が分析され，板書等の計画も綿密に立てられていたため，子どもはたくさん発言し，ねらいに迫る姿を見せていた。

授業協議会では，手だての有効性を検討する中で，授業づくりの大切な視点を明らかにすることができた。特に，授業のねらいが明確になればなるほど，授業構成が明らかになること，そして，「今，目の前の子どもにどうなってほしいのか」がねらいに表れてくることが重要であると，道徳の時間の指導の核心について認識を深めることができた。

(2) 道徳教育全体計画にかかわる研修
（11月16日実施，10名参加）

前半は，佐渡市立相川小学校坂井直子教諭，同金井吉井小学校三浦美和教諭から伝達講習をしていただいた。

後半は，各学校の道徳教育の全体計画を持ち寄って紹介，検討した。この中で特に，全体計画の「別葉」について，その必要性と整備までの取り組みについて確認できたことは大きな意義があった。今後は，この成果を市内の各学校に伝え，取り組みの参考にしてもらう予定。

（↑　金井小学校の道徳教育全体計画別葉）